

ピースアクション in オキナワ 第40回沖縄戦跡・基地めぐりへ参加しました



日本生協連主催で「沖縄で学ぶ子どもと戦争」をテーマに3月23日(木)～25日(土)に開催され、全国から27生協71名が参加しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け2019年以来実施しておりませんでした。4年ぶりにコープあきた地域理事の船木祐子さんを派遣しました。

多くの住民を巻き込んだ沖縄戦がなぜ国内唯一の地上戦の地となったのか、どのような状況下で住民は戦中を生き抜いたのか、戦後占領下におかれ、米軍専用施設が集中する沖縄で日々暮らす住民が抱えている問題や現在の論点は何か、戦跡と基地をめぐりながら考えました。

後日、県生協連の主催行事で船木理事の参加報告を予定しております。



ひめゆりの塔



辺野古のテント村

2022年度ユニセフ東ティモール指定募金を送金しました



県生協連の2022年度指定募金 **1,171,518円**を、

3月29日に日本ユニセフ協会へ送金しました。北海道・東北地連と九州地連で取り組んでいる東ティモール指定募金は2014年度から取り組みをはじめ、今年で10年目となります。2022年度も宅配事業の注文書による募金や、チャリティーバザー、店頭・事業所の募金箱設置などによる活動を実施しました。会員生協組合員、職員の皆様ご協力ありがとうございました。



「秋田県五城目町視察ツアー」へ
コープあきたの職員が参加しました

2014年に東京から移住し、秋田県五城目町でハバタク(株)を創業された丑田俊輔氏に日本生協連主催の全国方針検討集会の分科会講師として登壇いただいたことをきっかけに、3月3日(金)に現地視察ツアーが開催され、コープあきたの職員4名が日本生協連のスタッフや各地から集まった生協の職員と共に参加しました。廃校になった小学校をオフィスとして活用するBABAMEBASE、古民家を再生し地域をつなぐ施設シェアビレッジ、遊休不動産を活用した「ただの遊び場」などの視察を通して、地元の方と交流しながら事業や地域文化を発展させていく丑田氏の画期的な取り組みを学びました。

こちらのシェアオフィスには昨年秋田県で開催した令和4年度行政・生協連絡会議で「人口減少社会の持続可能な地域づくり」をテーマに講演いただいた国際教養大学准教授の工藤尚悟氏も入居されており、県生協連とのつながりもありました。この視察を機に、生協が更に地域に根ざした活動を担う組織となれるよう取り組んでまいります。



BABAMEBASEの前で
説明する丑田氏(左)



ただの遊び場 視察の様子